

圧力スイッチ取扱説明書

株式会社 西野製作所

〒552-0012 大阪府大阪市港区市岡1-15-10

TEL . 06 - 6571 - 5735

FAX . 06 - 6576 - 1608

M - 005 - 2

1 / 7

目 次

- 1 . 本取扱説明書についての注意 3 / 7
- 2 . ご使用前に 3 / 7
- 3 . 取り付け 3 / 7
- 4 . 使用方法 4 / 7
- 5 . 保守・点検 7 / 7
- 6 . 保証について 7 / 7

1. 本取扱説明書についての注意

このたびは、本製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。

ご使用前に本取扱説明書をよく、お読みになり正しくご使用下さい。特に本書における記述で**枠で囲んだ部分**を守らないと死亡または傷害を招く非常に危険な状況が発生する可能性があります。また下線を引いた部分を守らないと製品や周囲に物的損傷が発生する可能性があります。

なお、本取扱説明書は全てを網羅するものではありません。本書以外の事項につきましては当社までお問い合わせ下さい。

取扱説明書を読まなかったり、記載内容に沿わない場合、保証範囲外となり、また重大な事故の原因となります。また本書の内容は予告無く変更する事があります。

2. ご使用前に

(1) お買い上げ製品の確認

ご注文通りの仕様であることを確認して下さい。また外観をチェックして損傷などがないことを確認して下さい。

(2) 運搬、開梱上の注意

スイッチは精密機器ですので取り扱いには注意願います。落下させたり振動や衝撃を加えたりしますと破損する場合があります。

(3) 保管上の注意

湿気や振動、埃などの少ない場所を選んで保管して下さい。積み上げる場合は、荷箱が変形しない程度に重ね、落下させないようにして下さい。また結露のない場所に保管して下さい。

また長期の保管は劣化や経時変化を起こす恐れがありますので、使用前に点検願います。

3. 取り付け

(1) 取り付け姿勢は垂直になるように取り付けて下さい。傾くと誤差の原因になります。

(2) 液体測定の場合は、圧力取り出し口とスイッチの間に高低差があると精度に影響しますので注意して下さい。

(3) 取り付け、取り外し、もしくは設定・修理などの際は測定流体を完全に抜き、圧力を大気圧に戻してから行って下さい。また、電源も必ず、お切り下さい。けがや周囲を破損する原因となります。

(4) 取り付け場所は下記の点を考慮願います。

- 1) 人や物がぶつかりやすい場所は避けて下さい。
- 2) 振動のない場所か、防振対策を行って下さい。
- 3) 高温や低温にさらされる場所を避けるか、防温対策を行って下さい。
- 4) 雨露が直接当たらないようにして下さい。また結露がない場所にして下さい。
- 5) 埃や腐食性ガスの少ない場所にして下さい。

(5) スイッチの入口にバルブやコックを取り付けると保守が楽になります。また場合によってはドレーン抜きが必要です。

(6) 測定流体が高温である場合はパイプサイホンなどによって温度を下げてください。

(7) 一般タイプは非防水です。浸水や結露のないように設置して下さい。

4 . 使用方法

(1) 設定は設定範囲内で使用して下さい。定格圧力以上の圧力がかかるとブルドン管やダイヤフラムが破れて、けがや事故の原因となります。

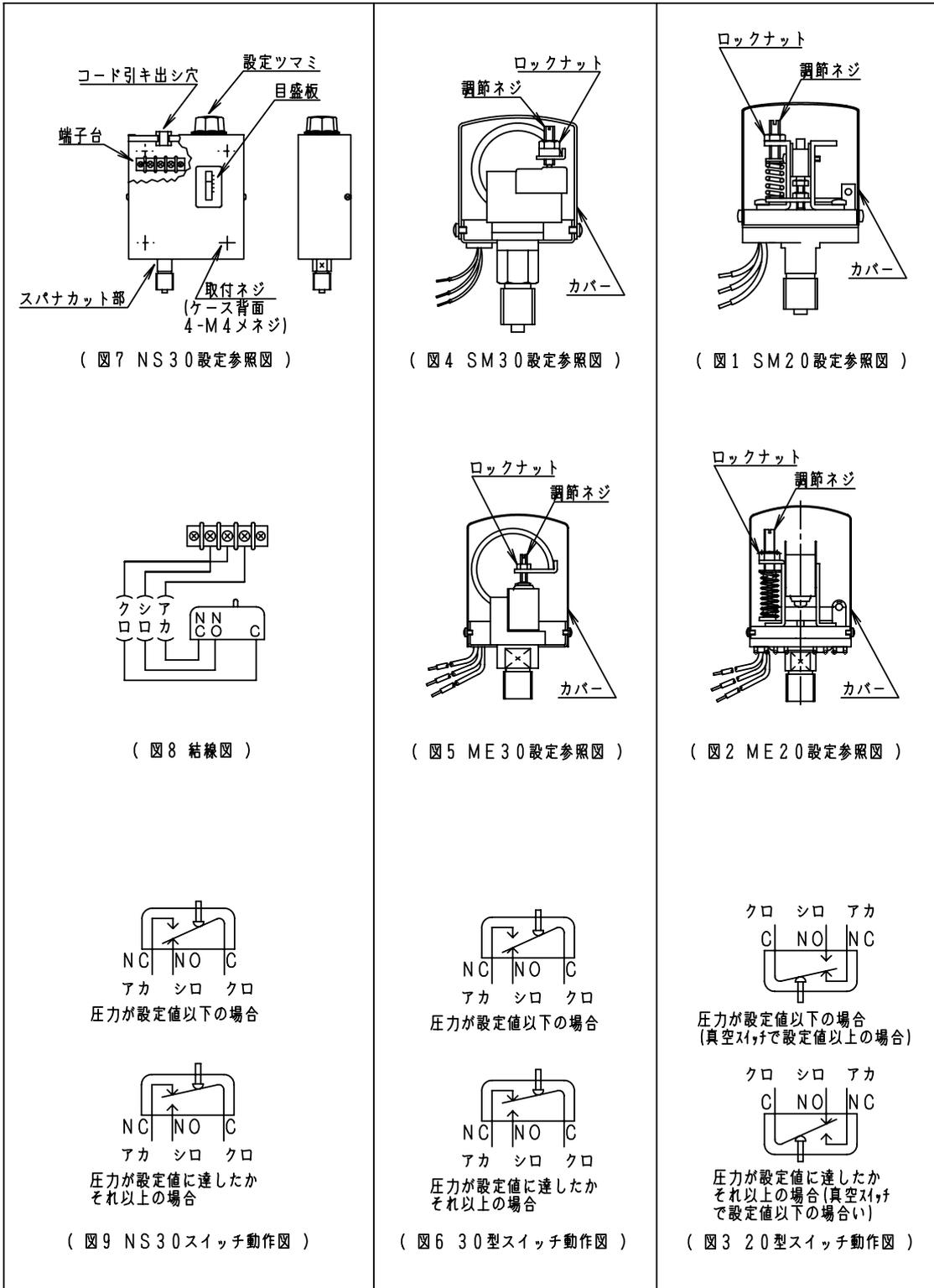
(2) 脈動・振動がかからないようにして下さい。設定がずれる恐れがあります。

(3) 接液部材質に対し、腐食性のある測定流体には使用しないで下さい。ブルドン管やダイヤフラムが破れて、けがや事故の原因となります。

(4) 製品に対し改造などを行わないで下さい。

(5) 仕様温度範囲内で使用して下さい。耐用年数が短くなります。また、破損や事故の原因になります。

(6) 動作・設定は下図の通りです。



(7) 配線

図3, 6, 9のスイッチ動作図を参照して下さい。20型, 30型はSM型, ME型とも同じです。

結線は圧着端子などを用いて確実に行って下さい。この後、ビニールテープなどで確実に、絶縁して下さい。また、この時は必ず電源をお切り下さい。重大な事故に繋がる恐れがあります。

SM, ME型は設定用目盛がない為、原則として工場出荷時に設定する事になっています。ご注文の時、設定値を指示して下さい。やむを得ず、現場で設定する時は、次の要領で行って下さい。この場合、基準器が必要です。

- ・カバーを外すと調節ネジとロックナットがあります。(図1, 2, 4, 5参照)
- ・設定する時は、次の ~ を数回繰り返して下さい。

電源を切った後カバーを外し、ロックナットを緩める。

調節ネジをマイナスドライバーで少し回した後、ロックナットを締める。

カバーを取り付けた後、電源を入れ、徐々に圧力を加え、基準器で圧力スイッチがON(または、OFF)になる圧力を確認する。

調節ネジを右に回すと設定値は上がり、左に回すと下がります。

- ・設定終了後、ロックナットが元通りに確実に締まっている事を確認し、カバーを取り付けて設定作業を終了する。

カバーを外す前に、必ず電源を切して下さい。

(8) 電気定格

電気定格は下記の通りですが、仕様などで定格が異なる場合があります。図面・仕様書・銘板などで確認願います。また、定格を越えた使用は重大な事故の原因になります。必ず定格以内でお使い下さい。

SM - 20, SM - 30, ME - 20 :

AC 250V, 3A (抵抗負荷) DC 250V, 0.2A (抵抗負荷)

最小適用負荷 DC 5V, 160mA

ME - 30, NS - 30 :

AC 250V, 7A (抵抗負荷) DC 250V, 0.2A (抵抗負荷)

最小適用負荷 DC 5V, 160mA

5. 保守・点検

(1) 定期点検を行って下さい。点検時期と方法は使用環境に応じて社内規定を定めて下さい(1年に1回以上が望ましい)。また管理台帳を作成することを、お勧めします。

(2) 製品に損傷、腐食、劣化、精度の低下などが見られた場合は修理や交換をして下さい。**そのまま、お使いになりますと事故の原因になります。**

6. 保証について

(1) 保証期間は納入後1年とさせていただきます。(真空や特殊品は除く)

保証期間内に当社の責により故障が生じた場合は、その機器の修理・交換を行います。ただし納入品以外の間接または結果責任などについては御容赦願います。また、下記に該当する場合は保証範囲外とさせていただきます。

- 1) お客様の不適切な取り扱い、または使用による場合(本取扱説明書に添わない取り付けや使用を含む)
- 2) 当社もしくは当社が委託した者以外の改造または修理による場合
- 3) 設計・使用条件を越えた取り扱い、または保管による故障、劣化
- 4) その他、天災、災害、紛争などで当社の責にない場合

(2) **本製品が原子力、交通機関、医療、爆発の可能性のある装置など故障や誤動作によって人命を脅かしたり人体に危害を及ぼす恐れがある用途に使用される場合は必ず当社にあらかじめ、ご相談願います。当社の同意無く使用された場合は責任を負いかねます**